

「MCPC award 2015」 総務大臣賞決定のお知らせ

**モバイル技術を活用したIoT/M2M ユーザシステムで成果を上げている
東日本旅客鉄道株式会社がグランプリ、および総務大臣賞に決定しました。**

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)では2003年以降、「MCPC award」を開催し、モバイルシステムの導入によりIoT/M2M分野での「業務効率化」、「業績向上」、「顧客満足度向上」、「社会貢献の推進」、「先進的なモバイル活用」等の成果を上げた事例を顕彰し、モバイルソリューション、IoT/M2Mシステムの更なる普及促進を図っています。

13回目となる今年は、10月30日の「MCPC award 2015 審査委員会」にてグランプリ候補の中から、グランプリ、モバイルテクノロジー賞、モバイルビジネス賞、モバイルパブリック賞、モバイル中小企業賞を決定し、併せて特別賞および奨励賞の各賞も決定いたしました。

加えて、2008年(5回目)より創設された栄えある総務大臣賞には、ユーザー部門、グランプリ受賞者である東日本旅客鉄道株式会社様に決定いたしました。

プロバイダー部門のグランプリにはエコモット株式会社様に決定いたしました。

表彰式はメルパルク東京 (<http://www.mielparque.jp/tokyo/>) にて下記の通りとおこないます。

- ・日時:12月3日(木)、16:45 - 20:00
- ・16:45 - 17:45 :表彰式(グランプリ / 総務大臣賞以外)、メルパルク東京、6F ルミエール
- ・18:00 - 18:15 :グランプリ / 総務大臣賞表彰式、メルパルク東京、5F 瑞雲
- ・18:15 - 20:00 :受賞者祝賀会 兼 忘年懇談会、メルパルク東京、5F 瑞雲

【受賞者一覧】と【各社システム概要】を添付致します。

<MCPCについて>

MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 会長:安田靖彦)は、業界の枠を越えてモバイルコンピューティング、IoT/M2Mシステムを普及促進することを目的とし、1997年に発足した任意団体です。

端末インターフェースガイドラインおよび、Bluetoothなど多数の標準化作業をはじめ、「セキュリティ対策ガイド」発行、「モバイルシステム技術検定」実施などを通して、モバイル、IoT/M2M市場の拡大に貢献しております。

MCPC加盟企業・団体 159社(2015年11月現在)

[本件に対する問合せ先]

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC) 事務局
所在地 : 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12長谷川グリーンビル2F
TEL : 03-5401-1935 FAX : 03-5401-1937
E-mail : office@mcpc-jp.org

以上

【MCPC award 2015 選定結果】(敬称略)

<ユーザー部門>		
	賞名	受賞者名
	グランプリ・総務大臣賞	東日本旅客鉄道株式会社 (東京都 渋谷区)
1	モバイルテクノロジー賞	ミサワホーム株式会社/ 株式会社ミサワホーム総合研究所 (東京都 新宿区)
2	モバイルビジネス賞	東日本旅客鉄道株式会社 (東京都 渋谷区)
3	モバイルパブリック賞	認定NPO法人 救急ヘリ病院ネットワーク(HEM-Net) AACN 研究会 (東京都 千代田区)
4	モバイル中小企業賞	加藤電機株式会社 (愛知県 半田市)
5	クラウド委員会特別賞	埼玉県都市整備部都市計画課 (埼玉県 さいたま市)
6	セキュリティ委員会特別賞	株式会社みずほ銀行 (東京都 千代田区)
7	M2M/IoT 委員会特別賞	日本通運株式会社 (東京都 港区)
8	奨励賞(3社)	東京電力株式会社 (東京都 千代田区)
9		大阪府 健康医療部 保健医療室 医療対策課 (大阪府 大阪市)
10		株式会社トヨタデジタルクルーズ (愛知県 名古屋市)

<プロバイダー部門>		
	賞名	受賞者名
	グランプリ	エコモット株式会社 (北海道 札幌市)
1	優秀賞	スマートメディカル株式会社 (東京都 千代田区)
2		株式会社 unerry (東京都 中央区)
3		BizMobile 株式会社 (東京都 千代田区)
4		エコモット株式会社 (北海道 札幌市)
5	クラウド委員会特別賞	株式会社リサーチアンドソリューション (東京都 渋谷区)
6	セキュリティ委員会特別賞	エス・アンド・アイ株式会社 (東京都 中央区)
7	M2M/IoT 委員会特別賞	三井物産エレクトロニクス株式会社 (東京都 港区)

【各社システム概要】

<ユーザー部門受賞>

(1) 【総務大臣賞 / グランプリ / モバイルビジネス賞】 東日本旅客鉄道株式会社

システム名称	JR 東日本アプリ
主な用途	鉄道利用が便利・快適になる情報の収集
導入規模	JR 東日本の全事業エリア
システム概要	<p>当社が保有する、時刻表、駅構内図、店舗情報、設備情報といった静的な情報や、運行情報、列車の在線位置、号車毎の混雑度といったリアルタイムな情報の中から、お客さまが今必要としている情報をスマートフォンで素早く簡単に入手できるアプリと、それを実現するための車上・地上システムで構成されている。</p> <p>2014年3月にアプリをリリースして以来、ダウンロード数は140万件を超え、日々多くの方にアプリをご利用いただき、利便性の高い情報提供ツールとしてお客さまに受け入れられている。</p>

(2) 【モバイルテクノロジー賞】 ミサワホーム株式会社/株式会社ミサワホーム総合研究所

システム名称	被災度判定計「GAINET」(ガイネット)
主な用途	地震発生時に建物ごとの揺れの大きさや被災度を判定する。
導入規模	3,000台 以降、1,000台/年
システム概要	<p>国内初の戸建住宅用被災度判定計「GAINET」は、自然災害リスクが極めて高い日本で住まいづくりに取り組む企業として、「いのちと暮らし」を守るLCP(=Life Continuity Plan)の考えのもと、「家のIoT」を活用した防災・減災の家を具現化するシステムです。</p> <p>地震の初期微動(P波)を検知、いち早く警報を鳴動・表示し、避難の注意喚起を行うと同時に被災度判定を行います。また、最新の高速・低遅延モバイル通信技術「4G_LTE」を採用し、全国の被災度情報をリアルタイムに把握し、被災した住宅の迅速・的確な復旧サポートを実現する「家×通信」を融合した新サービスです。</p> <p>収集・蓄積したデータをビッグデータとして活用することにより、様々な社会貢献にも役立つことが期待できます。</p>

(3) 【モバイルパブリック賞】 認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク (HEM-Net) AACN研究会

システム名称	「先進事故自動通報システム」 (AACN ; Advanced Automatic Collision Notification)
主な用途	交通事故負傷者の救命と後遺症軽減
導入規模	ドクターヘリ基地病院
システム概要	<p>AACNモジュール搭載車両より、事故情報(車両情報・衝突方向、回数・多重衝突・シートベルト着用・エアバック作動有無など)が発報されると、AACNシステムサーバーは、直ちに、傷害予測アルゴリズムを用いて、乗員の「死亡・重症度」を算出し、その結果をタブレット端末へ配信する。</p> <p>本システムの活用により、従来の119番通報に比べ、交通事故発生現場へ医師を派遣するまでに要する時間の大幅な短縮が実現された。車載器からの通報を契機に、ドクターヘリを起動させることは世界初の試みである。</p>

(4) 【モバイル中小企業賞】 加藤電機株式会社

システム名称	SAN フラワー見守りサービス
主な用途	災害による遭難・山岳遭難・認知症患者の徘徊・子供の誘拐対策
導入規模	日本全国にてサービス提供、想定市場規模 約 500 億円
システム概要	昨今、災害による遭難、認知症患者の徘徊、子供の誘拐などの事件が多発している。現在見守りサービスとして GPS 端末が普及しているが、屋内で GPS が取れない、電池切れ等々で有事の際に機能しないことが多かった。 本 SAN フラワーは 920MHz を利用した SAN タグと SAN レーダーを利用することにより、電池長持ち且つ、屋内外関係なく誤差 50cm 程度までたどり着き発見できる。 また、地域で共存する個人、法人、自治体、ボランティアなどが SAN レーダーを持ち捜索協力する等地域の安全をみんなで守る仕組みを実現する。

(5) 【クラウド委員会特別賞】 埼玉県 都市整備部 都市計画課

システム名称	さいたま ^{げんさい} 減災プロジェクト
主な用途	県民の安心・安全を確保するため、災害時の地域に密着した災害情報を、県民が共有できるシステム
導入規模	一（誰でも利用可能）
システム概要	県民の安心・安全を確保するため、災害時の地域に密着した災害情報を、県民が共有できるシステムとして、埼玉県が株式会社ウェザーニューズ（WNI）と協定を締結して実施しています。 災害時には、身近な災害情報を誰でも投稿し、閲覧することができるため、的確な防災・減災活動に役立ちます。また、平常時から各種防災図面を閲覧することができ、事前の防災・減災の取組にも活用することができます。

(6) 【セキュリティ 委員会特別賞】 株式会社みずほ銀行

システム名称	スマートフォン・ウェアラブル向けバンキング
主な用途	個人のお客さま向けバンキング
導入規模	100 万ユーザ超
システム概要	・みずほ銀行が、野村総合研究所およびスタートアップ企業である MoneySmart 社と連携し、システムを構築。勘定系システムと構築した中継サーバを連携し、スマートフォンおよび AppleWatch に口座残高等の金融情報を表示する仕組み

(7) 【M2M/IoT 委員会特別賞】 日本通運株式会社

システム名称	オペレーション支援システム
主な用途	運送業務支援（安全管理、運行管理など）
導入規模	車載端末 約 12,500 台
システム概要	運行管理用車載機（デジタル式運行記録計）と操作端末（スマートフォン）を連携させて運行データや作業進捗状況をリアルタイムで管理できる仕組み。 業務の効率化／安全性の向上／燃料消費率の改善などの効果を生み出すことができた。

(8) 【奨励賞】 東京電力株式会社 配電部

システム名称	配電工事モバイル
主な用途	工事会社における竣工報告書類の作成 安全パトロール・中間検査の書類作成
導入規模	3, 000台
システム概要	<ul style="list-style-type: none">・モバイル端末で工事記録を作成することで帰社後の書類整理を軽減・現地で撮影した写真を基地局と共有することで、突発的な設計変更の可否判断と承認を効率化。・安全パトロールや中間検査の記録を電子化することで、作業班毎の傾向分析を支援。

(9) 【奨励賞】 大阪府健康医療部 保健医療室 医療対策課

システム名称	ORION(オリオン)
主な用途	救急搬送支援を行うとともに、病院前・後情報を一元化して集積し、救急医療体制向上に向けた検証や分析を行う。
導入規模	大阪府内全ての消防機関および救急告示医療機関
システム概要	<ul style="list-style-type: none">・日本では主に現場の救急隊が傷病者の症状に応じた医療機関の選定を行う。本システムでは、救急隊が所有するスマートフォンに専用のアプリを搭載し、アプリ上に大阪府内の救急医療機関の受入・搬送状況をリアルタイムに表示し、医療機関選定をサポートする。・上記のスマートフォンアプリによる医療機関選定履歴などの情報をクラウド上に蓄積し、この情報に対して消防本部より病院到着前の患者情報を、搬送先医療機関から診断や治療、患者の転帰に関する情報を追加で直接入力もしくはファイルによる登録を行うことで、救急隊要請段階から患者の転帰にいたる情報を傷病者単位で地域網羅的に一元化して情報を蓄積する。蓄積した情報を解析し、地域の救急医療体制の課題を抽出し改善につなげる。 (2015年8月末時点で約1,000,000件が登録)

(10) 【奨励賞】 株式会社トヨタデジタルクルーズ

システム名称	次世代コミュニケーション基盤 (uniConnect 3)
主な用途	社内利用
導入規模	約600名
システム概要	<p>本社 PBX のハードウェア EOL を機会に「ワークスタイルの変革」「環境への配慮」を課題とし、新コミュニケーション基盤 (uniConnect 3) を導入</p> <p>①ワークスタイルの変革</p> <ul style="list-style-type: none">・Lync との連携によるスムーズなコミュニケーション・社員の電話取次の無駄の排除 (1人1台1番号)・オール無線によるフロアレイアウト変更、新拠点設立への柔軟な対応 <p>②環境への配慮</p> <ul style="list-style-type: none">・主要サービス基盤の仮想化・拠点毎の PBX を新音声設備システムに統合 <p><その他の特徴></p> <ul style="list-style-type: none">・音声品質監視の導入・通話ログ明細管理 SYS の導入

<プロバイダー部門受賞>

(A) 【グランプリ / 優秀賞】 エコモット株式会社

システム名称	IoT プラットフォーム FASTIO (ファスティオ)
主な用途	各種システム・サービスの IoT 化
導入規模	1~5000 アカウント程度 (スケーラブル)
システム概要	創業時より複数の IoT 関連事業を運営し、そこで培った要素技術や知見を投入する形で、あらゆる市場のユーザー企業が簡単に自社の設備やサービスの IoT 化を可能とするプラットフォームを開発しました。 すぐに使えるアプリケーション、デバイスや通信回線にセンサまで含めたパッケージとして、シンプルな価格体系で提供しています。 現在は多岐にわたるセンサへの対応と、外部クラウドサービスとの連携を可能とする API の拡充などを通じて、お客様ニーズに対応した進化を続けています。

(B) 【優秀賞】 スマートメディカル株式会社

システム名称	じぶん予報
主な用途	従業員のメンタルヘルス対策
導入規模	約 1,000 アカウント
システム概要	「じぶん予報」は「すべての働く人と企業を元気にする」をテーマにしたストレスチェック義務化対応アプリです。順天堂大学医学部公衆衛生学教授 谷川武先生監修の下、ストレスチェックのみならず、スマートメディカルが有する音声から気分を解析する新技術 Empath(R)を利用し、毎日音声を入力することで、その日の気分状態を計測。また、天候情報を気分とあわせて取得することで、天候に応じた気分の日内変動を予報します。従業員は自らの気分の変動を意識することで、あらかじめストレスに対する心構えを形成。こうした機能により、従業員のセルフケアを促進します。また、個々の従業員および部署の気分遷移を可視化することで、チーム内での声かけおよびモチベーション向上を促します。

(C) 【優秀賞】 株式会社 unerry

システム名称	Beacon Bank (ビーコンバンク)
主な用途	Beacon の相互利用オープンプラットフォーム
導入規模	2019 年に登録 Beacon200 万、利用ユーザ 5 百万人
システム概要	Beacon を利用するために必要な機能が揃う唯一のプラットフォーム。登録されている Beacon を使えば自社で設置しなくても Beacon サービスを実現可能！ <ul style="list-style-type: none"> ・自分に最適なメッセージが配信される Push 配信自動選別 ・管理画面にて自社設置 Beacon を簡単に一括管理 ・専用 SDK (iOS、Android) で Beacon アプリを簡単に構築可能 ・Beacon に反応したログは自動取得され管理画面で確認 ・Beacon Bank に登録されている公開 Beacon を自由に使える ・自社 Beacon を他社が利用すると、報酬を受け取ることが可能

(D) 【優秀賞】 BizMobile 株式会社

システム名称	BizMobile Go !
主な用途	マルチデバイス管理
導入規模	70 万台
システム概要	BizMobile Go! は、仕事で使うデバイスを、遠隔から、簡単に、一元管理できる MDM クラウドサービスです。キッティング作業を劇的に軽減する世界初の『仮想デバイス同期機能』と『テンプレート機能』を実装し、IT 管理者の負担である初期設定や設定変更、新機能追加時のキッティング作業、日々の運用監視作業を簡素化します。数万台を超える運用に耐える国内唯一の MDM として、上場企業の 7 割に導入されています。

(E) 【クラウド委員会特別賞】 株式会社リサーチアンドソリューション

システム名称	インフラ総点検システム
主な用途	自治体が保有する橋梁等の点検に使用
導入規模	各自治体（県、市町村）
システム概要	スマートデバイスとクラウドを活用して橋梁点検業務を支援するサービスです。 事前準備・点検実施時の結果入力・事後取りまとめ作業・報告書作成などにおける担当者の円滑な作業を支援し、担当者の負荷軽減・効率化・スピードアップ・精度や品質向上など様々なメリットを創出します。

(F) 【セキュリティ委員会特別賞】 エス・アンド・アイ株式会社

システム名称	ThinBoot PLUS / ThinBoot ZERO Surface モデル
主な用途	VDI 相当のセキュリティレベルを Fat PC 比較 1.3 倍程度のコストで実現できるシステムと、シンクライアントモデルとしてカスタマイズされたタブレット Microsoft Surface を組み合わせることで、運用性とモビリティ性に優れたシンクライアント環境が可能に。業務の効率化やモバイルワーク、在宅勤務を容易に実現します。
導入規模	100 台～
システム概要	「ThinBoot PLUS」 アプリケーションの仮想化/配信、各種アクセスログ監視、端末管理機能を有したシンクライアントシステム。指定のファイルサーバやクラウド上からストリーミング配信されたアプリケーションを場所を問わず安全に利用できる環境を提供。 「ThinBoo ZERO Surface モデル」 PC だけでなくタブレットを安全に使いたいという市場ニーズに合わせ、現在法人利用として最も注目を集める Microsoft の「Surface 3/Pro 3」、さらに回線付きモデル「SoftBank Surface 3 4G LTE」をシンクライアント専用端末として提供。VDI 利用のためのソフトウェア・モジュールをプリインストールした状態で出荷、セキュアな端末利用の迅速な開始を実現。

(G) 【M2M/IoT 委員会特別賞】 三井物産エレクトロニクス株式会社

システム名称	環境 IoT PoC パッケージ
主な用途	屋外センサーデータの可視化システム
導入規模	1台から数百台まで可能
システム概要	<p>各種センサーと電源接続不要で屋外に設置可能なスペイン、Libelium 社製ソーラーパネル付きセンサーノード、有線 LAN 接続不要の 3G 通信機能付きゲートウェイ、データを貯める AWS クラウド環境、可視化ソフトまでをセットにした、パッケージソリューションです。</p> <p>必要な機器設定は全て完了した上で提供しますので、お客様にて設置後すぐに各種センサーデータを PC、タブレット、スマートフォンなどで遠隔モニタリングすることが可能です。</p>

以上